

ティーチング・ステートメント

所属 北海道科学大学 薬学部

名前 鈴木 夏子

作成日 2021年3月24日

【責任】

薬学部薬学科に所属し、食品栄養学を中心とした教育・研究活動を行っている。主な教育活動は衛生系関連科目（食品衛生学・栄養療法学・薬学基礎実習・総合演習）などの担当、卒業研究指導である。

【理念】

薬学で必要とされる知識を獲得するとともに、問題を解決する思考力と自己学習の姿勢を常に持って欲しい。特に、医療の世界では技術が飛躍的に進歩し、新知見も溢れているため、獲得した知識の応用や積極的な更新、それを使いこなすための研究的思考が必要とされる。

一方、近年の学生においては、思考力不足や受動的体質が散見される。このため、講義や卒業研究を通して、学生自らが主体的に学ぶ姿勢や理論的思考を身につけることで、国家試験に対応できる力や得られる情報を融合して他者に伝える力を修得させる教育を提供する。

【方針・方法】

上記の理念を達成するため、「理論的に物事を考える力」、「計画的に課題に取り組む能力」、「国家試験に必要な知識」を修得させることを方針としている。

「理論的に物事を考える力」の修得

- ・理論的思考の獲得は、「問題解決能力」や「プレゼンテーション力」の向上に繋がる。特に卒業研究では、実験結果について深く考察し、それをまとめてセミナーで発表してもらうことで、理論的思考のトレーニングを行っている。
- ・卒業研究では、様々な情報を収集・整理して、正確に情報を捉えることができるよう、自身のテーマに関連する内容について、論文検索や研究室内での共有を行っている。

「計画的に課題に取り組む能力」の修得

- ・限られた時間の中で行動する能力を身につけられるよう、研究室では登下校時間を定めている。
- ・同時に複数のことをこなせるよう、一日の計画を立てるよう指導している。
- ・短期的な計画だけではなく、常にゴールを意識して実験計画を立てるよう指導している。

「国家試験に必要な知識」の修得

- ・小テストを実施し、現時点の到達度を提示している。
- ・要点をまとめた補足資料を作成している。
- ・学生の集中力に注意し、適宜休みを入れながら授業を進めている。

【評価・成績】

- ・授業アンケートでは、ほとんどの項目において「そう思う」以上の評価を得ている。
- ・卒業研究担当の学生が大学病院や大学院に就職した。

【目標】

- ・短期目標としては、学生が興味を持ち取り組める事前学習を提示する。
- ・長期目標としては、授業や卒業研究を通して、理論的にものを考える力を養わせたい。